



## 施策研究チームからの研究成果報告書の提出について

今年度の新たな取り組みとして 4 月に設置した中堅職員による施策研究チームの研究成果が報告書として提出されましたので、お知らせします。

記

### 1 施策研究チーム

#### (1) 設置の目的

新幹線開業を見据え、市民力を活かした様々なまちづくり事業や、市民に信頼される市役所づくりを行うため、中堅職員によるチームを編成し、課題解決のための施策を研究し事業化を図る。併せて職員の実践的な政策形成能力を養成することを目的とする。

#### (2) 概要

##### 組織

各部局から選ばれた中堅職員 2 3 名で組織し、課題に応じてフレキシブルに編成する少人数グループにおいて課題の解決を目指す。

##### 施策テーマ

「駅地下」「市民ロビー」「事務改善」「高岡の食」の 4 テーマ

##### 経過

4 月 26 日 施策研究チームの設置 (4 グループ編成)

4 月下旬～5 月上旬 グループ別施策テーマの選定

5 月中旬～7 月末 グループ別施策研究

7 月末

8 月末

} 研究成果の発表

[ ・ 施策研究チームのプレゼンテーション  
・ 各部局長との意見交換 ]

### 2 研究成果の取扱い

関係部局で提案のあった事例等について検証を行い、可能なものについては直ちに組み込む。予算措置が必要なものについては、平成 23 年度予算編成の中で費用対効果等も勘案しながら事業化を検討する。

## 【施策研究チーム 研究成果報告書 概要】

### テーマ：駅地下

高岡駅周辺整備完了後の駅地下街の再生がテーマ。

駅の日常的な利用者である通勤・通学者と近隣住民が気軽に利用できる「明るく元気なエキチカ」を目指し、「暗い」「汚い」といったイメージからの脱却と修繕コストを可能な限り抑えた施設改修の必要性を指摘した。

再生に向けた駅地下の基本コンセプトを、ターゲット別に、通学・通勤者にとっての「大きな待合室」、近隣住民にとっての「小さなダウンタウン」とし、施策として、**店舗・施設構成、店舗・施設の配置、誘客のための振興策、テナント入居者への助成策、ホームレス対策、地下通路としてのバリアフリー化、**について提案した。

店舗施設構成では、住民票等の自動交付機やATM等の公共のサービススポットの設置、ファストフード店やドラッグストア、弁当・惣菜屋の設置、銅器製のオブジェの設置等を提案した。

店舗配置としては、中心部を壁や仕切りのないオープンスペースとし、その周辺部にゾーンを分けて効率的に店舗を配置することで、利用者の利便性の向上と明るく開放的なイメージへの転換を図ることを提案した。

テナントの誘致については、一つの店舗で昼間と夜間の業種形態を変え、利用客層の時間帯による変化に柔軟に対応できる二毛作経営の可能性の提案と、現行の助成策の拡大をあげた。

### テーマ：市民ロビー

市民ロビーは、市役所を訪れる人がまず最初に目にし、市役所の印象を左右することにもなる場所である。市民ロビーのあり方について、市民の立場にたって現状を調査し、迷うことなく目的の場所に行けるか、気持ちよく滞在できるかの2点から検証を行い、改善点をまとめた。検証にあたっては、**実地調査と、市民や1階窓口職員へのアンケート**を行い参考とした。

改善のポイントとして、**案内看板の大きさと設置個所の改善 やすらぎ空間の創出 完全禁煙化 市民玄関正面裏側に設置されている展示ケースの移動、**を提案。

案内看板については、パネルサイズと文字サイズの拡大、色弱者にも配慮した色別による窓口案内、ユニバーサルデザインを使用した案内看板の作成と利用者の目線を意識した設置場所への変更を提案した。

また、ロビー環境の改善のために、七夕や風鈴を設置し季節感を演出することや、つる性植物を利用した壁面緑化への取り組みを例示した。喫煙コーナーについては撤去を、展示ケースについても移動が可能ならば他の場所へ移動することを提案した。

### テーマ：事務改善

事務改善を、「住民目線からの事務改善」「行政内部の横の連携による事務改善」の2つのキーワードで検討することとし、その事例として「子育て施策」を取り上げた。高岡市の子育て施策は、各課の所管に応じて各事業が実施されているため、市民にとって分かりやすく使いやすい事業内容とは言い難い現状にある。

グループでは、国の所管の違いによる縦割り行政の壁を取り払い、市民のニーズに応じて一環した子育て支援事業をトータルで実施する組織体制の実現までのステップとして、**市民への情報提供のあり方を見直し、ホームページで提供する情報の一元化を進める必要性と、ポータルサイト作成に向けて児童育成課を主管課とした検討委員会を設置すること、施策の企画・立案体制の一元化、事業実施体制を含む合理的な事業運営に資する組織機構の確立、**を提案した。

### テーマ：高岡の食

高岡の食については、美味しい地元食材があるがアピール力が弱いことを指摘。元来、高岡には食をブランド化して生産するというのではなく、**県西部地区の中心地として近隣の食材が集積する場であったこと、それらの食材を調理して提供する文化があったことに**着眼し、「じっくり味わう」「めぐって味わう」「おみやげで味わう」の3つの仕掛けによる高岡の食の発信方法を提案した。「じっくり味わう」では、高岡の伝統工芸（食器）と高岡に集積される食材をコラボさせた「高岡御膳」の提案、「めぐって味わう」では、市内の観光地と食を組み合わせた気軽な食の提案、「おみやげで味わう」では、高岡の特産物を少しずつ多種類詰合わせたセットで高岡の食をPRすることを提案した。